

「光徳寺善隣館だより」 ー初秋号ー

発行人 光徳寺善隣館
理事長 佐伯祐善



〈杭打ち工事〉



〈タワークレーン設置工事〉



〈基礎・地中梁配筋工事〉



《基礎工事ここまで進みました！》



朝の空気に爽秋の気配が感じられる頃となりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか？今回も引き続き、皆様に工事の進捗状況と仮園舎で暮らす中津学園の子ども達の様子をご報告致します。

《建替え応援団会議の開催》

新園舎の建替えに当たり、園舎だけでなく学園の顔である門扉も斬新なものに変わります。
鉄製階段のデザイナーで著名な大住豊氏（東京大田区在）から、門扉の製作のご寄贈を頂くことになりました。

また、それと関連して門から園舎玄関までの、プロムナードも素敵なデザインが、提案されています。
これは、建替え応援団のメンバーである近畿大学工学部建築学科の寺川准教授とゼミ生の研究制作として企画されています。

上記2つの提案以外に、クラウドファンディング用の動画制作も進行中です。この動画は、大阪メトロ（地下鉄）中津駅の南改札の壁や柱にあるサイネージにも年内に学園の歴史と建設の様子が映し出される予定です。乞うご期待！次号で、ご案内させていただきます。

スタッフ一同、一丸となって取り組んでいますので、今後ともご声援ご支援をお願いいたします。



建替え応援団
会議の様子で
す！



建替準備室長 河崎 洋充

《恒例の一泊キャンプに行ってきました！》

酷暑の8月でしたが、21日と22日の1泊2日で、六甲山キャンプ場にバスに乗って行きました。初めてのアーチェリー体験やアスレチック・カヌー・サップなどの水遊びも満喫することができ、子どもたちの笑顔に癒されました。また、夜には、キャンプファイアーで盛り上がるなど、夏のイベントを大いに楽しむ一日になりました！！

ボランティアさんも多数参加して頂きました。本当にお疲れ様でしたと共にありがとうございました。みんなで楽しく過ごすことができ、いい夏休みの思い出になりました。 中津学園園長 渡辺 祐子



コラム

「ルーツを訪ねて」

☆佐伯家の明治末の家族写真が見つかりました！！

大阪府豊中市にお住まいの（祐正の姉・文榮のお孫さんにあたる）三浦路さんのお宅から、古い佐伯家の家族写真が見つかりました。祐正の父である祐哲、母のタキ。そして三人の姉妹、祐正・祐三とその弟の祐明（15歳で死去）の八名が、光徳寺の中庭で勢ぞろいしている写真です。

この写真を最初に発見されて、私たちに教えて頂いたのは、橋爪節也氏（大阪大学名誉教授、美術史研究家）です。氏は、今回の建替えて、我々が、佐伯祐正史料を探していることを聞かれて、三浦さんをご紹介して頂き、三浦家にある史料の閲覧にもご同行頂きました。関係者の皆様に感謝申し上げます。



『(前略) 後ろに立つ文榮の前、祐哲と並んで左にちょこんと腰掛ける少年が祐三だろう。シャッターを押す瞬間に目をつぶっているが、いかにも無頓着な祐三らしい。新発見のこの写真が、佐伯祐三のもっとも若い時の肖像となるが、幸せそうな集合写真を見ていると、悲劇的な生涯で語られがちな佐伯だが、恵まれた家族環境が芸術家としての感性を養い、まっすぐに自分の道を進んでいったことが分かる。(後略)』

※ (OSAKA 生涯学習情報誌「いちよう並木」No477 新おおさかKEYワード【第34回】より、橋爪節也氏原稿を抜粋させていただきました。

佐伯祐哲と妻のタキ(左側)を囲む佐伯家の子どもたち。
右端が文榮、その前の少年が祐正(左)と祐三(右)

文責： 河崎 洋充